RIPPLE SAILING CLUB
NO. 149

月刊 1995. 09. 20

RIPPLE

（発行）
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
TEL 0468−57−1711

振り替えのヨット駅伝レース

来る10月1日（日）、初夏に荒天のため中止になったヨット駅伝の振替レースが行われます。
男性4名、女性1名で1チームをつくり、海上に設けられた3個のブイを各々回ってきて、タスキを（実際はTシャツ）を次の走者に渡すという、正に海の駅伝なのです。
走者は4人、内1コースのみ女性を同乗させなければならないのである。コースもショートコースからロングコースまで有り、どの人を何処に配置するかでも頭のいたいところであり、また、女性をどのコースに同乗させるかが、勝敗に大きく影響して来るので、この辺の駆引きも面白いところである。
既に11回を数えたこの大会、年に1度の再開と有って、旧友の友情を暖めるのにも良いレースとなっております。
我がリプルチームは最高が3位とまだ優勝の経験をしておりませんが、ま〜（↵）おしてほっていたへですね。気がうかでかった。
参加することに意義があるレースなので、皆さんもトライしてみたらどうでしょうか。
既に長谷川、小池、村瀬、増田、宇宙開発のお姉さんのチームが名乗りを挙げておりますが、まだまだ受付中ですので、奮ってご参加を！。

快晴のリプルカップ

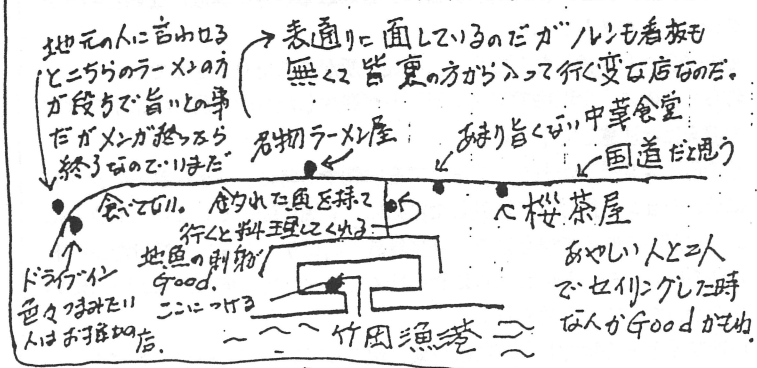
去る9月10日（日）リプルカップ後半戦が行われました。
参加者9名。天気晴れ。SWの風2−4m／s。海面フラット。
風が弱かった性もあり、11時スタートは15分遅れのスタートとなったが、夏のうっせきを晴らすかの様に、参加者全員はスタートラインを切って行ったのである。
そんな中、久々に出場のハッシーこと長谷川氏は、見事パーフェクトを成し遂げウームと思わせる日でもありました。
何処がハッシーと皆の差が出るのかなーと、まじで追っかけたのであるが、まずスタートのタイミングが完璧である。コースの取り方がフリートを避けフレッシュウインドを捕まえるのがうまい。コースの回り込みとその時のセイルシェイプの動作が早い。クローズの時の乗艇位置。ランニングの時の逆ヒール。それにも増して、アウトホールの緩め方等、彼特有のチュウニング。
一度というか、1レース無駄にしても良いから、コミッティーボートから見学するのも、決して無駄では無いと思いますので、希望がありましたら、次回のレースで見学して下さい。
そして、レース終了後は反省会を兼ね、シーフードバーベキューをして、去り行く夏を惜しんだのである。
結果は下記の通りです。

順位	氏名	1st	2nd	3rd	4th	T.P
1	長谷川	0.75	0.75	0.75	0.75	3
2	広瀬	2	4	3	5	14
3	小池	5	2	7	2	16
4	増田	6	7	2	3	18
5	佐怒賀	3	3	6	6	18
6	中田	4	6	5	8	23
7	田中	9	8	4	4	25
8	田中	8	5	8	7	28
9	高尾	7	9	9	9	34

来月は10月8日（日）を予定しておりますので、都合が付きましたら参戦して下さい。お待しております。

竹岡漁港グルメマップ

この夏、館山、伊東、伊豆諸島（大島、新島、式根島）、ベイブリッジと西に東に南に北と大活躍したリプル号であるが、秋の訪れと共に、天候とか日没の関係で自ずから遠出は難しくなり、近間のクルージングの季節になってきました。
そこで、秋からのクルージングポイントは、12マイル先の竹岡漁港、18マイル先の勝山漁港が主要なクルージングポイントとして上げられるのである。そして、何と言っても風任せのクルージングであるので、限られた時間で行って帰って来ることを考えると、マイル数の少ない竹岡になるのである。
今回は、そんな竹岡漁港のグルメマップを紹介しましょう。
二押しのグルメポイントは何と言っても名物ラーメン屋でしょう。
メニューはラーメン（350円）とチャーシューメン（400円）（各大盛り有り．50円増し））しか無いのであるが、いつ行っても行列が出来ているのであるが、そこは、チャーシューのつまみとビールで時間潰をしていれば、店の人が呼んでくれるのである。
味は醤油味で決して麺もスープも決して旨くなく、麺が見えないほどチャーシューがのっているのであるが、実は7割が脂身であり、食べるのにちょっと勇気のいるチャーシューなのであるが、何日かするとまた食べたくなるという、はまってしまうラーメン屋なのである。
我々クルー達はスープも脂身もしっかり残すのであるが、地元の常連さんは、どんぶりきれいさっぱり食べて帰って行くのであるから驚きである。



二押しのグルメポイントは1．0K／m程歩かなくてはならないが、国道沿いのドライブインである。
揚げ物、煮物、刺身と数え切れないほどのメニューが壁にびっしりと貼られていて、200円位から高くても400円止まりなのである。でもってビールが大瓶500円が一番高いプライスなのである。
クルーが多ければテーブルいっぱいなんて事にもなってしまっても、会計は驚くほどなのである。（竹岡の来々軒といった所です。）
三押しのグルメポイントはその名も”桜茶屋”。
要予約でお定食が2．500円。
四季折々の板長の心意気が伝わって来る小椀が10点近く。
全室個室で、大人数でも人数に合わせた部屋を用意してくれるのである。
ボーナスなどが入った時とか、ちょっと贅沢なランチタイムをしたいなーなんていう時にはもってこいの所です。
あっ！、それとサービス料が確か5．00円取られたと思います。
まーその他にも、地の刺身を出してくれる定食屋さんとかが有りますので図に書いておきますので参考にして下さい。
また、東京湾フェリーで行った時なんかは、金谷から4−5K／m北ですので、時間があったら参考にして下さい。

かくれ釣りフォン情報．ソーダにサバにイナダがワンサと入って来ております。